

令和5年度

飯田市キャリア教育推進フォーラム

地育力で私と地域の未来をひらく飯田型キャリア教育
幼児期から高等教育期までのつながる学びを通して生きる力を育む

〔 日程 〕

- ◆「わが家の結いタイム三行詩コンクール」特選表彰 12:50～13:00
- ◆開会式 13:00～13:15
- 第Ⅰ部 幼児期から高等教育期までのキャリア教育実践発表 13:15～14:55
 - ① 認定こども園飯田市三穂保育園
 - ② 飯田市立龍江小学校
 - ③ 飯田市立竜東中学校 *①～③の感想伝え合いタイム
 - ④ 学校法人高松学園飯田女子高等学校
 - ⑤ 学校法人コア学園飯田コアカレッジ
 - ⑥ 結いジュニアリーダー育成講座 *④～⑥の感想伝え合いタイム
- 休憩 — 14:55～15:05
- 第Ⅱ部 パネルディスカッション 15:05～15:55
 - テーマ 若者の皆さんと一緒に、私と地域の未来を考えよう
- ◆閉会式 15:55～16:00

期日：令和6年2月10日（土）

会場：飯田市鼎文化センター



主催：飯田市・飯田市教育委員会
後援：長野県教育委員会・長野県南信州地域振興局・下伊那教育会・下伊那校長会・
飯田市校長会・飯田商工会議所・長野県経営者協会飯田支部・飯田青年会議所・
みなみ信州農業協同組合・飯田市社会福祉協議会・飯田市PTA連合会・
飯田市保育協会・飯田市私立幼保連携型認定こども園連合会

第I部 幼児期から高等教育期までのキャリア教育実践発表

① 三穂保育園年長ひまわり組 今村 陽子先生 上沼 佳子園長先生 おいしくできたよ！五平餅作り！

「なんてだろう？」「わかった！」「自分でやりたい！」「できた！」子どもが主役の保育実践

飯田市公立保育園では、信州型自然保育の認定を受け、飯田市の自然を活かした“いいだ型自然保育”にも取り組み、各園がそれぞれの地域の特色を大切にしながら保育を行っています。三穂保育園でも、園庭のミニ田んぼでどろんこ遊びを全身で楽しんだり、ヤギとの触れ合いで生き物の温かみを感じたりと地域の方にも支えられながら、心も体も五感で感じる「体験」を大事にしています。

今回は「番茶ってなあに？」「グラムってなあに？」「人肌ってどういう事？」など、おばあちゃんが教えてくれたレシピには子ども達の知らない事ばかり！子ども達が「なんだろう？」「やってみよう！」とワクワクしながら五平餅づくりに挑戦した様子を可愛らしいつづやきと共にご紹介します。



② 飯田市立龍江小学校 6学年代表の皆さん 柴 駿斗先生 龍江の竹とわたしたち ～3年間の竹の学習から学んだこと～

本校では、学校教育目標に「ぼくたちが育つ龍江 これからもずっとふるさと」を掲げ、持続可能な地域社会を担う資質・能力の育成に取り組んでいます。本年度6年生は4年生から地域の放置竹林について学習してきました。3年間の学習で、「放置竹林とは何か？」「放置竹林にはどのような問題があるのか？」について調



べ、放置竹林を有効活用する取り組みとして、4年生では水鉄砲や竹楽器、5年生では竹灯籠、6年生では竹のいかだや竹製品を製作しました。さらに、6年生では竹製品を天龍峡マルシェで販売もしました。発表では、3年間の活動で学んだ放置竹林についての問題点や、その活用の取り組みについてお伝えしたいと思います。



③ 飯田市立竜東中学校 1学年代表の皆さん 久保田 剛史先生 竜東の魅力再発見「何でこんなところにキャンプ場が！」



本校では、「総合的な探究の時間」となって課題解決に向けた探究学習を行うようになった高校へとつなげるため、単発的な活動が多かった総合的な学習の時間を見直しました。1年生の時に行ってきた「ふるさと学習」を3年間かけて時間的なゆとりをもって進め、地域の「人・もの・こと」に繰り返し関わりながら探究のプロセスを発展的に進める探究型の総合学習を始めました。地域おこし協力隊など本気で取り組む地域の方の想いに触れることで、地域に対する関心を高め、自分事に置き換えながら学びを深めていく様子が見られ始めています。今日は地域と関わりながら3年間を通して行う探究型ふるさと学習の実践と園・小・中・高とつながる総合的な学習の時間の在り方の提案を行います。



④ 飯田女子高等学校「学校を売ろう！」 3年 小池 杏奈さん 小池 凜奈さん

高校生による合同高校説明会

～中学生に自分に合った高校を見つけてもらいたい！

高校生が創り上げた探究活動実践報告～

偏差値やインターネットの情報だけでなく、高校のリアルをもっと知る機会があったらいいのに…。中学3年生の時に感じた進路選択のもやもやを解決しようと、高校生が様々な困難を乗り越え、自分の学校や学校生活を中学生に紹介するイベントを、7月30日に丘の上結いスクエアで開催しました。

当日は22人の高校生実行委員と共に活動し、約100人の地域の方がイベントに参加してくださいました！



⑤ 飯田コアカレッジ ITビジネス学科

1年 三浦 寛樹さん 岩下 晴之さん 深津 はなひさん 宮島 未来さん

丘の上魅力発信MAPの作成 南信州アンテナショップ開催による特産品PR

飯田コアカレッジの学生の多くが、当地域の企業に就職を希望しており、将来この地域の産業や伝統を継承していきます。そこで、もっと自分たちが暮らす地域のことに理解を深めることが必要であると考え、授業を通して地域課題や新たな交通網により変化していく

将来について考えてきました。

また、地域をフィールドにした探究学習では、「地域の活性化に向けて私たちができること」をテーマに、活動してきました。今回は、「当地域の隠れた特産品のPR」ならびに「いいだ丘の上マップ制作」による、地域の魅力発信の取り組みについて発表します。



⑥ 結いジュニアリーダー育成講座の皆さん (15期生 市内9中学2年生代表)

今年度の活動報告 ～学んだことから私たちができる取組や生き方～



私たち結いジュニアリーダーは、今日を含めて年7回の講座を通して、各校の特色ある生徒会活動や学校行事、職場体験について情報共有し、中学校間のつながり「結い」をつくり出してきました。さらに外部で開かれているSDGsや環境文化都市飯田について考えるワークショップへの参加、(株)アース・グリーン・マネジメントの見学などの体験を通して、環境や住み続けられるまちづくりなどを考えてきました。



様々な人・もの・こととの出会いから、私たちの役割や行動、生き方について考えたことや、講座が終わってもこの気持ちを持ち続けるためのキャッチコピーやシンボルマークについて発表します。

※実践発表について、「感想伝え合いタイム」や「アンケート」で感想を伝えていただけるとありがたいです。

第Ⅱ部 パネルディスカッション

若者の皆さんと一緒に、私と地域の未来を考えよう



ファシリテーター

信州大学大学院教育学研究科特任教授
上郷公民館長

やまうら さだかず
山浦 貞一 さん

伊賀良小学校長を最後に退職。「伊那谷 de キャリア教育」に携わり、南信州サテライトキャンパス（飯田東中学校内）にて院生指導。下伊那教育会全郡教科等研究中心講師。



パネリスト

小澤木材株式会社

やざわ あつし
矢澤 篤 さん

手先を使い、物を作り出すことが好き。中学校の職場体験がきっかけで、建築科のある高校へ進学。大工となり、仕事をしながら技能五輪全国大会（建築大工）に2回出場。



パネリスト

飯田市二十歳の集い実行委員

よしざわ らいる
吉澤 來琉 さん

龍江地区二十歳の集い実行委員として、当日の運営を行う。事前準備の地域学習に取り組む中で、地域のわくわくスポーツ大会に参加。仲間とともに、地域の方と地域課題に関わる。



パネリスト

カンボジア・スタディツアー参加
下伊那農業高校アグリサービス科2年

あかば あいか
赤羽 愛花 さん

飯田市公民館主催のカンボジア・スタディツアーに、教育関係に興味があることから参加し、日本との違いや良さを学ぶ。その後、松尾地区の高校生講座にも参加し、活動中。

私と地域の未来をひらく「地育力」を活用した「飯田型キャリア教育」

飯田市では「地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり」を目標にしています。

子どもや若者が、変化の激しいこれからの時代を生き抜くためには、地球規模で物事を考える広い視野と生まれ育った地域への誇りと愛着を育むことが大切だと考えています。地育力（飯田の資源・人）を活用したふるさと学習や体験的な学びを軸とした「飯田型キャリア教育」を、幼児期から高等教育期まで発達段階に応じて切れ目なく推進していきます。「飯田型キャリア教育」では、自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあって生きていくための力を育み、未来の地域の担い手や、地域を支える人づくりに取り組みます。

【飯田型キャリア教育で育みたい4つの力】

- 人とつながる力(結いの力) 例:自己表現力、コミュニケーション能力、規範意識など
- 自分を見つめ夢や希望を描く力(みつめる力) 例:自己の役割理解、主体性、忍耐力など
- 課題をもって最後までやり抜く力(うごく力) 例:情報収集・課題発見力、計画力、実行力、評価・改善など
- 職業や仕事について興味や関心をもつ力(みとおす力) 例:学ぶこと・働くことの意義や役割、多様性の理解、職業に関する情報収集など

ふるさとのおよさに気づき、自ら関わろうとする態度をもつ人